

☆☆新潟大学法学部公開講座のご案内☆☆

- 講座のテーマ 『市民生活と犯罪』
- 講座の内容 犯罪は市民生活とどのように関わり、どのように動きを見せているのか、なぜ刑罰が科せられるのか。犯罪処理システムはどのようになっているのか、そのシステムははたしてうまく機能しているのであろうか、ワイロはなぜ減らず、尊厳死は認められるのであろうか。これらの問題を市民にわかりやすく説明する。
- 講義内容 下記のとおり
- 募集人員 80名 (申込順)
- 受講料 4,000円 (資料代 1,000円を含む)
- 申し込み及び問い合わせ……〒956-0816 新潟市東町2丁目5-6

新潟市教育委員会 生涯学習課 生涯学習係

☎0250-22-9666

回	日 時	内 容	会 場	講 師
1	5月14日 (木) 18:30～20:10	開 講 式 (18:30～18:40)	地域学園	新潟大学法学部 助教授 丹波 正夫
		『刑事法への招待』 犯罪や刑法が、現代社会とどのように関わり、どのような動きを見せているのであろうか。		
2	5月21日 (木) 18:30～20:00	『犯罪は時代を語る』 犯罪者・非行少年はその犯罪・非行によって我々の生きている時代がどんな時代なのか垣間見せてくれる。	〃	新潟大学法学部 教授 小野坂 弘
3	5月28日 (木) 18:30～20:00	『刑罰をめぐる理論と現実』 刑罰は何のために存在し、またどのように用いられているか。我が国の刑罰をめぐる理論と現実を概観し、死刑の廃止論の動向についても考える。	〃	新潟大学法学部 助教授 岡上 雅美
4	6月4日 (木) 18:30～20:00	『構造汚職と賄賂罪』 ワイロの収受はなぜなくならないのであろうか。判例の分析を通じて、その原因・問題点・将来の規制のあり方を探る。	〃	新潟大学法学部 教授 本間 一也
5	6月11日 (木) 18:30～20:00	『安楽死と尊厳死』 「安楽死」と「尊厳死」の問題を通じて、「自己決定権」に基づく人間の生命の処分可能性について考える。	〃	新潟大学法学部 教授 本間 一也
6	6月18日 (木) 18:30～20:00	『刑事事案の処理システム』 刑事事案の処理の仕方を、警察の認知事務から、微罪処分、不起訴・起訴猶予・起訴処分、有罪・無罪判決、刑務所・少年院まで、成人と少年に分けて考える。	〃	新潟大学法学部 教授 小野坂 弘
7	6月25日 (木) 18:30～20:00	『裁判所はなぜ国民と疎遠なのか』 裁判所は恐らく行きたくない場所の一つであろう。なぜそうなのか、日本人の裁判観と国民の司法参加を考える。	〃	新潟大学法学部 教授 鯉越 滄弘
8	7月2日 (木) 18:30～20:00	『蔽の中―裁判における真実とは何か』 犯罪事件が発生した時、人は真実を知りたいと思う。犯罪報道を通じて明らかにされる真実の嘘と裁判における真実発見の限界を考える。	〃	新潟大学法学部 教授 鯉越 滄弘